大正九年十二月十四日第三種郵便物認可
昭和九年七月二十三日　新京日日新聞　（月曜日）　第四千百三十三號　（一）

新京日日新聞

夕刊　七月廿二日（日）

本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓
廣告料 一行一圓三十錢 特別二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

水害の影響を受け　北滿特產物の出廻り激減
拉賓、拉北兩線は全滅の憂目

七月中旬に於ける北滿特產物出廻狀況は左の如く前旬に比し一四三九七キロトンの減少で歷然たる水害の跡を見せ拉賓北の如きは全滅の憂目を見せて居る

線別	
社線	四五、〇二八
平齊線	七、一八五
濱北	‖
拉賓	‖
北滿	一、八七九
京圖	五、一〇九
計	五九、二〇一

品種別	
大豆	二四、三〇三
その他豆類	一、〇五〇
高粱	四、三二六
粟	二、一〇二
穀物	一、九一三
種子	
豆油	三四
豆粕	二九九
木材	五、八八二
軍需品	一〇、四五一
その他	二一、四八一

右の如き貧弱なる出廻數のためハルビンに於ける滯貨現在八區一〇五、八〇〇キロ、濱江一六、七〇〇キロ、川下四二、〇〇〇キロ、計一七九、五〇〇トンの多量に達し濡損を虞れ目下極樂寺三果樹驛構內に荷操をなしつつあり尚三果樹に積込みのまま停留中であつた三〇九車は北安經由平齊線向發送迄了したが平齊線不通のため途中に留置し三果樹埠頭の滯貨中三百五十車を江橋廻しとした、三果樹埠頭の倉庫三棟は三百車を收容し目下充滿の狀況で野積も二百車あり防濕用具は尙若干の餘裕があるが腐敗の虞れ充分あり滿鐵、總局は拉賓平齊兩線の復舊に全力を傾注して居る

新度量衡器及外國品檢査のため　度量衡器檢查所を新設

實業部權度局に於ては、從來國內に使用されつつある舊度量衡器廢止のため、一般民衆に舊度量衡器の弊を說き度量衡器の改革に努めつつあるが一方計器股份公司に於て製作される新度量衡器並に外國より購入される度量衡器の嚴密なる檢査を行ふため、度量衡器檢定所を設立する事になり目下計畫立案中で、遲くも來年三月頃迄には實現の模樣である、尙滿人度量衡檢查官養成のため日本より技術者を招聘し、度量衡檢定官養成所を設置する計畫が進められて居る

新京に於ける　一般金融通貨狀況（三）
＝朝鮮銀行新京支店調査＝

（二）滿洲側通貨　滿洲側通貨は滿洲中央銀行の發行する國幣である

滿洲國建國以前の滿洲通貨は極めて多種多樣であつた、滿洲國の建國を見た昭和七年六月十五日に、滿洲國政府は滿洲中央銀行法なる特別法による發券銀行即ち滿洲中央銀行を設立し、從來舊政權下に於て紊亂その極に達した複雜不統一な貨幣制度を純銀の量目二三、九一瓦を以て價格の單位とし、之を圓と稱する銀本位系の滿洲國幣制度に統一すべく昭和七年六月一日執政敎令第二五號を以て新に全文十四ヶ條よりなる貨幣法を發布して、滿洲中央銀行をして五角一圓、五圓、十圓、百圓の紙幣、一角五分の白銅貨幣及一分五厘の靑銅貨幣を發行せしめることとし、從來流通して居た左の紙幣は舊貨幣整理辦法によつて本辦法施行後滿二ヶ年間は次の換算率を以て國幣と同一の効力を有さしめ、その間に新貨幣と引換させ期間滿了後は其効力を失はせることにして七月一日より銀行營業を開始せしめた、本年六月末を以てその期間は丁度滿了することになつて居たが交通不便なる山間僻地住民は此の期間內に兌換の機會を失する者もあるべきを以て滿洲國政府は右期間滿了後も引續き一箇年間即ち昭和十年六月末迄引換期間を延長することとなり、右の旨を本年五月二十三日財政部より發表した右發表に依れば國幣との換算率も從前通りで舊紙幣所有者の便宜も計り且回收をも促進する意味に於て右期間內は租稅其他官公署の收支等にも便宜舊紙幣を受入れても差支へないことになつて居る、昭和八年十二月末日迄に滿洲中央銀行が回收した舊紙幣の額は一億五百九十萬三千六百九十六圓（國幣換算）で未回收額は三千六百三十三萬一千一百八十四圓從つて昭和八年十二月末現在の舊紙幣及新紙幣を合せたる總發行高は一億二千九百二十二萬三千六百三十七圓新鑄貨發行高二百十六萬八千八百三十圓であつた、昭和九年六月末迄に回收した舊紙幣は總額一億三千二百三十五萬餘圓で之を中銀開業當時舊官銀行號から引續いた總額に比較すれば約九割三分一厘回收したこととなり殘額は僅か百八十餘萬圓に過ぎない

舊紙幣名　新紙幣（國幣）との交換步合

一、東三省官銀號發行兌換券（天津券を含ます）　國幣一圓につき一圓
二、邊業銀行發行兌換券（天津券を含ます）　國幣一圓につき一圓
三、遼寧四行號聯合發行準備庫發行兌換券　國幣一圓につき一圓
四、東三省官銀號發行兌券　國幣一圓につき五十圓
五、公濟平市錢號發行銅元票　國幣一圓につき六十圓
六、東三省官銀號發行哈爾賓大洋票　國幣一圓につき一圓二五
七、吉林永衡官銀錢號發行哈爾賓大洋票　國幣一圓につき一圓二五
八、黑龍江省官銀號發行哈爾賓大洋票　國幣一圓につき一圓二五
九、邊業銀行發行哈爾賓大洋票　國幣一圓につき一圓三五
十、吉林永衡官銀錢號發行官帖　國幣一圓につき五百吊
十一、吉林永衡官銀錢號發行小洋票　國幣一圓につき五十圓
十二、吉林永衡官銀錢號發行大洋票　國幣一圓につき一圓三十
十三、黑龍江省官銀號發行官帖　國幣一圓につき一千六百八十吊
一四、黑龍江省官銀號發行四厘債券　國幣一圓につき十四圓
一五、黑龍江省官銀號發行大洋票　國幣一圓につき一圓四〇

尙昭和九年六月末現在の發行高を開業當時より各年末の發行高と比較すれば

昭和七年七月一日（開業當初）　一四二、二三四千圓
昭和七年十二月末日　一五一、八六五千圓
昭和八年十二月末日　一二九、二二三千圓
昭和九年六月末日　一〇〇、五四〇千圓

と漸次減少を示して居る

次に當新京に於ける通貨流通狀況を表により示せば左の如くである

新京通貨流通狀況

	輸入取引	特產取引	日常取引
日人相互間	金票	金票、鈔票、滿洲國幣	金票
日滿人間	金票	鈔票、滿洲國幣、吉林官帖	滿洲國幣、金票、吉林官帖、哈大洋票、鈔票
滿人相互間	金票	滿洲國幣、吉林官帖、現大洋、鈔票	滿洲國幣、吉林官帖、哈大洋票、現大洋、鈔票

摘要

輸入取引、日常取引は全部金票日本人間の特產取引（主として大連、朝鮮、內地向）は殆んど金票

日本よりの輸入取引は金票、特產物の市中取引は鈔票、國幣吉林、新京線の特產物買付は殆んど國幣、北滿鐵道南部線沿線より買付は國幣（吉林官帖）及哈爾賓大洋票、日常取引中日本賣は總て金票、滿人賣の日本品輸入品は金票建、其他の商品は國幣建

日本よりの輸入品は金票營口より輸入南部支那（上海、青島、天津）商品は過爐銀建、現大洋建て國幣、鈔票又は金票により決濟特產物の取引所に於ける取引は鈔票、北滿鐵道南部線奧地買付は國幣、官帖哈大洋票、現大洋錢は農家其他死藏用として使用せらる（完）

日滿名品料理
日の出シュウマイ
東三條通
電四九八〇番
ヨクヤレ

友好促進に　滿印事情紹介處設置
印度志士ナイル氏の計畫

アジアをアジア人の手に！大亞細亞モンロー主義の大旆を翳しこの春結成されたアジア聯盟の輝しい誕生を契機として汎亞細亞主義運動は熱情に燃ゆる靑年同志によつて果敢に鬪はれて來たが、同聯盟の一員、大亞細亞會の指導者印度の志士ナイル氏が中心となり滿印の友好關係促進のため滿洲、印度兩事情普及所設立の準備を進めてゐたがこの程關係當局の諒解を得ていよいよ來る八月一日ごろから開設の運びとなつた、同普及所は滿洲には大連、新京兩地に印度事情普及所を印度にはデリー、カルカッタ、ボンベー、マドラス、トルパソタル五ヶ所に滿洲事情普及所を設け從來滿洲事情が支那を通じて印度事情は英國を通じて夫々ゆがめられて傳へられたものを是正し滿印兩民族の固き握手を齎さんとするものである

北滿水害の　木材流出狀況
半分は回收の見込

吉林から當地滿鐵機關への情報によると、蛟河に於ける流出木材の約八割は松花江合流地點漂河口までの間に漂着して居るものの如く實際流出せるもの約二割見當で目下回收作業に懸命の努力をしてゐるなほ松花江本流材に對しては日滿共同漂流木蒐集委員會を組織して當つてゐるが、日商側の被害は

	本	圓
增子洋子		
枕木	三、〇〇〇	三一、五〇〇
杉松丸太	二、〇〇〇	五〇、〇〇〇
富士公司		
元木	一、〇〇〇	三〇、〇〇〇
富吉號		
枕木	三、〇〇〇	一四、五〇〇
丸太	八〇〇	一八、〇〇〇
濱端洋行		
丸太	三、一〇〇	九、〇〇〇

右總價格十五萬三千圓で約五割は回收の見込であり、また拉賓線は列車不通で不明、京圖、拉賓兩沿線は各驛出材品にして流出せるものなき模樣であると

間島集團部落　建設着々進む
成績は頗る良好（四）

自衛團

間島に於ける自衛團は他の滿洲各地の自衛團とは異つた强力な存在である、間島の鮮農は越境して間島の土地に最初の鍬を入れて以來あらゆる迫害と戰はねはならなかつた彼等は開拓者としての自然的勞苦の外に支那側の政治的迫害、共產黨の襲擊等の外敵により幾度か生死の巷を彷徨してゐる、支那側の政治的迫害は滿洲國の成立で解消したが共匪の襲擊は依然として熄むところを知らない、鮮農の中に共匪に親を殪されたものもあれば兄弟が殺戮されたものもある、だから彼等の組織する自衛團は共匪に對する憎しみに燃え復讐心でこり固つてゐる、本年度に於ては間島各地に於て他省と同樣に保甲連坐法が敷かれ、從來の有給自衛團が廢止されたのでこれが間島の治安に及ぼす影響は至大なものであると云ふ事は消息通で口を揃へて云ふところである、集團部落もそれと同樣である、彼等は共匪の暴行に家を燒かれ家財を掠奪されて滿洲事變以來滿洲各地を流浪して具さに辛慘をなめてゐる、自衛團は大體に於て各戶より一人以上の壯丁を選出し約三週間乃至四週間、所轄日本軍警の指導で訓練を施し直ちに警備に歸せしめてゐるが短期期間の訓練でよく部落を警備し果敢に實戰に當つてゐる、昨年度に於ける各地九ヶ所の集團部落が受けた共匪の襲擊度數は四十九回に上りこの戰鬪に於て戰死一名負傷一名を出してゐる、又今年度に於ては總督府側の集團部落のみにても既に五十回に垂々とする襲擊を受けこの中或る一ヶ所の如きは十數回の襲擊を受けてゐる、又滿洲國側の集團部落は殊更に共匪の地區に接近せる關係上更に害多く從來共匪の根據地として知られてゐる三頭嵗に建設中の集團部落は遂に引揚げを餘儀なくせらるるに至つた

共匪の反對工作

上述せる如く集團部落の建設は共匪側に取つて致命的打擊を與へてゐるので共匪側に於ても凡有る鬪爭にこれを取上げ、ビラ、宣傳によつて或ひは「日本は近くソ聯と開戰する」とか或ひは「支那問題の紛糾で世界大戰が勃發する」とか時局問題を中心にして盛にデマを流布せしめんとしてゐるが、治安の確保と生活の安定によつて農耕に從事してゐる鮮農は最早や見向きもしない又ここにいささかナンセンス味を持つてゐる話は、共匪側でもこちらの集團部落に對抗して赤色集團部落を建設してゐる事である、この赤色部落は琿春縣の奧に一ヶ所、其他全間島で約三ヶ所あるらしいがその內容は露西亞のコルホーズを模倣してゐるものの如くで、農具や耕牛が足らないので盛に附近の部落に出沒して掠奪を行つてゐるそして滑稽なのは共產黨員がこちらの集團部落にやつて來て「赤色集團部落に來れば耕牛一頭に金四十圓を提供する」などと宣傳してゐる、この宣傳にはさすがに物に動じない集團部落の指導員連中もいささか顏まけの態である（終）

日滿悲曲　生命線を行く
（滿上映）　國友雄吉　（荒川芳三郎畫）

（二百三十五）

人生走馬燈

東京驛を發した東海道線の夜行列車の三等室に、久彌と、晴子が乘つてゐた。

二人は、何處への旅なのであらう？

「いま時分、家では、きつと、驚いてゐるだらうよ」と、久彌がいふ。

「家のお母さん、きつと泣いてるわ。考へてみると、何も知らないお母さん、可哀さうだわ」と、晴子は、ちよつと怖れる。

「でも、いいぢやないか。僕の母や、君のお父さんの、作戰の裏を搔いて、驚かしてやるんだから、ぢきに喜びに代るんぢやないか」

「それも、さうだわね」

二人は顏を見合して、につこり笑つた。

汽車は橫濱を過ぎて、もう程なく大船である。二人は鎌倉へ行くのだつた。

その頃。麴町の氏家と、麻布の牧原との兩家では、果して大騷ぎになつてゐた。

久彌と晴子とは、置書を殘して東京を出發したのである。

そして、その置書なるものは、雙方の親たちを驚愕させるに十分であつた。

二人は、或ひは、自殺でもするのでないかと想はれた。ハッキリ、さういふ意味は書いてなかつたけれど、さういふ風に、想像の出來る文面であつた。それだけに、餘計に人々を驚かし、且つ心配させた。

「僕から結婚の申込みがあるなんて、あなたが、あんな出鱈目を言ふものだから――晴子が自殺でもしたら、どうします」と、牧原夫人安子は良人に喰つてかかつた。

牧原氏は默つた。

「あれは氏家の奧さんに賴まれて止むを得なかつたんだよ」

「それでは、氏家の奧さんに掛け合つて晴子を、もとく通りにして貰つてください」と、まるで半狂亂の態である。

牧原氏は困つてしまつて、氏家へ駈つける。と、其處ではもう、千瀨子夫人が眼を泣き腫らしてウロウロになつてゐた。

「何事も、あたしが惡いんです。今時の若い者の氣持も知らないで――どうぞして、二人が無事に歸つて來るやうにしてください」

牧原氏は、こちらでも夫人に泣き付かれて途方に暮れて了つた。

伸一も、その話を聞いて非常に驚いたがしかし、既に二人の自殺などを信じられなかつた。二人の家出の裏面には、或ひは何か、自分に對する好意がひそんでゐるのでないか、といふやうに頭はれてならなかつた。

それはもう、夜の十時近くであつた。

お愛が來て茂彥を連れて行つたまま、いつまでも歸つて來ないので、それも心配をしてゐる處へ、電話がかかつて來た。

伸一が電話口へ出ると、千原大尉の聲であつた。

「君、すぐに勝代君の處まで來てくれたまへ、詳しいことは、會つて話すがね――茂彥君もこちらに來てゐるよ――市子さんが來たんだよ――とにかく、大急ぎで――自動車で――」

大尉にも似合はず、非常に狼狽したやうな語氣であつた。

伸一は、すぐに千瀨子夫人の室に來て、

「お母さん、いま、千原大尉から電話で、市子が歸つて來たといつて知らせてくれましたから」といふと、夫人も居合せた牧原も非常に驚いて、

「えッ、市子さんが――」といつて、顏を見合した。

時も時、二人のことで心配をしてゐる處へ市子が歸つて來るなんて、人生はまさに走馬燈であつた。

やがて、伸一の乘つた自動車が赤坂に向つて飛んだ。

日日案內

揭載料
◇三行一回　金五十錢
◇被履度一回　金三十錢
◇五行一回　金八十錢
◇十行一回　金一圓五十錢
◇揭載日指定一割增　姓名在社　料金前金

募集
外務　社員採用　新京宮町四ノ四三井物產內　三井生命保險株式會社新京出張所
產婆　見習生二名急募　希望者本人來談　新京朝日通十九　博愛產院

雜件
下宿　お世話は滿日館　電話三八〇二番へ
速記　個人敎授及技術者派遣　大連速記研究會　吉野町吉野館內新京支部
簡易宿泊所　城內東四馬路廿八　公益旅舍

土地家屋
土地　賣買紹介並　東一條通五四　金光教會前　萬成社　電四八八四番
家屋　貸したい借したい家ま　東一條通五四　金光教會前　萬成社　電四八八四番
住宅　貸す貸間　東一條通五四　金光教會前　萬成社　電四八八四番
電話　切に御　東一條通五四　金光教會前　萬成社　電四八八四番
土地、家屋、賃貸借賣買、周旋紹介、公認　××××朝日通十七　新京土地建物會社　電話長四八二八番

電話
既設電話月賦販賣　電話賣買金融　電話用達部
△△△朝日通十七番地△△△
△△△電話長四八二八番△△△

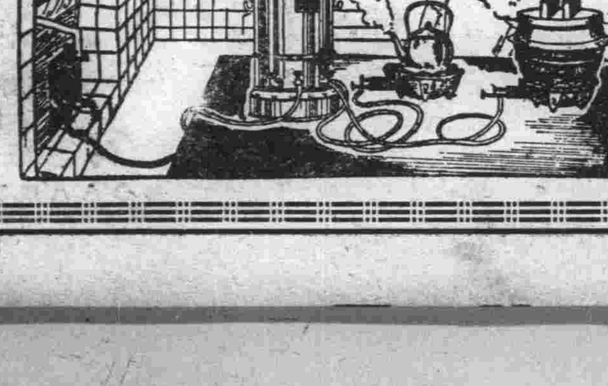
あんま
男女員多數　一般御取次
第至急御伺ひ致します
日本橋通中家內　電話三八五二番　闘治療所

▼鍼　灸
▼あんま
▼マッサージ
淺草療院
入船町二ノ二三
電話四七九六番

EG經濟瓦斯器

◇世界的大發明
私設瓦斯會社の出現!!

◎瓦斯界に新生面を拓いたEG瓦斯は近來の大發明で一般家庭は勿論旅館、料理店、カフエー、工業方面に迄で盛んに愛用されつつあります
◎費用は普通瓦斯會社料金の二分ノ一以下で經濟的な私設瓦斯會社が各家庭に出現した譯であります
◎タンク壹個で炊事場、風呂場、室內ストーブ等何ケ所にても手輕に取付が出來ます
◎持運びが至極便利で殊に瓦斯のない土地には一大福音をもたらす逸品であります
❖カタログ進呈
❖特約販賣店募集
關東洲滿洲國總發賣元
新京八島通り四二番地
福昌公司
電話二六九七番　四八六六番



ペイント及塗料
小野田セメント
衛生陶器
鐵材
電機機械
防水材料
ベニヤ板・床板
テックス
土工用具
新京日本橋通り七八番地
株式會社　大信洋行新京支店
電話（二五二三）（三七〇八）番

讓店
新京ダイヤ街梅ヶ枝町一丁目一條橋南詰目下營業中歸國に付至急店讓りたし御希望の方は左記へ
新京日本橋通り
日本橋旅館

賣却
一、フオドトラック　一
一、シボレートラック　一
一、フオード乘用　一
新京富士町三ノ一三
朝日タクシー內
フヂ

解傭廣告
塗工部　石井弘
右者解傭自今當社トハ關係アリマセンカラ御承知願ヒマス
昭和九年七月一日
看板圖案塗裝　新彩社　代表　高橋忠

白米　清酒　醬油　木炭
新京大和通四七
今田商店
電話二九三二番

日系官吏三百名を新に地方各縣に配屬
民政部竹内總務司長東上 内務省に推薦依賴

現在各縣に勤務してゐる滿洲國の縣參事官は政務の各般に亘つて中央との連絡をとるかたはら縣內自治工作の指導に從事してゐるが滿洲國も建國既に三年地方の治安工作も順調にすゝみ本年度においては諸機關もやゝ整備されること〻なつてをり到底參事官一人では縣治事務上の圓滑を期することが出來ないのに鑑み民政部では現に日本の諸官廳（主として縣廳）に勤務してゐて相當地方行政の事務に經驗ある日系官吏三百名を採用、これを各縣に配置し主として事務上の擔任に當らせること〻なつてゐる、既に民政部の本年度豫算にはこれが人件費として六十萬圓が計上され竹內總務司長今回の上京も右に關し內務省に推薦方依賴のためらしく目下のところ九月末までには人選をみて十月早々渡滿するはずである

陸軍定期大異動の內命發せらる

【東京國通】八月一日附發令される陸軍定期大異動は二十一日上奏御裁可を仰いだので愈々即日內命が發せられたが主なる轉補左の如し

補第二師團長 中將大勳位 稔彦王
補第四師團長 臺灣軍司令官 大將 松井 石根
朝鮮軍司令官 大將 川島 義之
補軍事參議官（各通） 參謀次長中將植田 謙吉

補臺灣軍司令官 陸軍航空本部長 中將 杉山 元
補參謀次長兼陸軍大學校長 陸軍造兵廠長官 中將 岸本 綾夫
補陸軍技術本部長 臺灣守備隊司令官 中將 外山 豐造
補第九師團長 憲兵司令官 中將 秦 眞次
補第二師團長 陸軍次官中將柳川 平助
補第一師團長 參謀本部總務部長 中將 橋本虎之助

任陸軍次官 參謀本部第一部長 中將 古莊 幹郎
補第十一師團長 陸軍省兵器局長 中將 植村 東彥
補陸軍造兵廠長官 陸軍科學研究所第一部長 少將 多田 禮吉
補陸軍省兵器局長 ○○團長 中將 宇佐美興屋

補騎兵監 騎兵第二旅團長 少將 蓮沼 蕃
補○○○團長 參謀本部附 少將（中將進級） 今井 清
補參謀本部第一部長 所澤飛行學校長 中將 堀 丈夫
補陸軍航空本部長 關東軍司令部附（滿洲國軍政部顧問） 少將 多田 駿

補○○砲兵旅團長 參謀本部附 少將 板垣征四郎
關東軍司令部附被仰付（滿洲國軍政部顧問）

陸軍省軍務局軍事課長 陸軍步兵大佐（少將進級） 山下 奉文
陸軍兵器本廠被仰付（陸軍省勤務）
參謀本部課長 陸軍砲兵大佐 橋本 群
補陸軍省軍務局軍事課長

尚今回は中將級の大將進級はなくその他の進級は大体既報の通りである、而して進級內定の內支那駐屯軍參謀長菊池門也大佐は少將に進級した

補憲兵司令官 近衛步兵第二旅團長 少將（中將進級） 谷 壽夫
補東京灣要塞司令官 陸軍經理學校長 主計監（主計總監進級） 平手 勘次郎
補陸軍省經理局長 被服本廠長主計監 奧田 德三郎
補陸軍經理學校長 陸軍野戰砲兵學校長 少將（中將進級） 伊東 政喜
補砲兵監

支那駐屯軍參謀長 陸軍砲兵大佐 菊池 門也
任陸軍少將

異動追加

【東京二十二日發國通】陸軍大異動は既報の外左の通り追加された

關東憲兵隊司令官 少將 田代 完一郎
朝鮮憲兵隊司令官 少將 岩佐 祿郎
補關東憲兵隊司令官 大阪憲兵隊長少將 難波 光造
補朝鮮憲兵隊司令官 騎兵監部附 少將 笠井 平四郎
補騎兵第二旅團長 下關要塞司令官 中將 兒玉 友雄
補臺灣守備隊司令官 陸軍步兵學校幹事 少將（中將進級） 下元 熊彌
補下關要塞司令官 參謀本部第三部長 少將（中將進級） 山田 乙三
補參謀本部總務部長 兵器本廠附（陸軍省新聞班長） 步兵中佐 任步兵大佐 根本 博

尙陸軍省經理局長主計監小野寺長次郎氏は今回の定期異動に際し後進に途を開くため林陸相に辭表を提出したので依願免本官豫備役を仰せ付けられる筈である

米國の力を借りて日本を牽制
孫科渡米の眞目的

【南京廿一日發國通】夫人の病氣治療を名として渡米せる立法院長孫科の使命に就ては巷間種々の臆測が傳へられて居るが、此の臆測も確實なる筋の探査に依れば孫科渡米の使命が米國を利用し日本牽制を企圖するにありたる事確實となつた、即ち日本接近を標榜する國民政府外交當局はルーズヴエルト大統領のハワイ避暑の報に接するや忽ち他力本願の本性を現しこれを利用する事となり、直ちに孫科にその旨を含めてハワイに赴きルーズヴエルト大統領と會見極東の情勢を詳述し何等かの方法をもつて日本牽制を懇願せしむるに決したものである尙孫科は十九日ホノルルにてルーズヴエルト大統領に對し會見を申入れた報告があつた

收賄事實明瞭となり
中島男遂に强制收容
謝禮一萬圓、株式數百株收受

【東京國通】三度目の召喚をうけて二十一日早朝東京地方檢事局に出頭した中島久萬吉男は前後九時間枇杷田檢事の峻烈な取調べをうけ午後四時半檢事廷から豫審廷に移されて豫審判事の拘留訊問後同午後八時四十五分市ヶ谷に收容された 尙中島男は二十一日の召喚の際前二回と同樣飽く迄も商工大臣の職務に關して收賄せる事實ないと主張したが收受した株數並に金額についても他の關係者の供述と一致しない點多く檢事局としては納得するに足る自供を握るに至らず既に關係者の供述で同氏が大藏事件の原因をなす帝人事件について商工大臣たるの職務に關して請託を容れ問題の株式の取引上場を許可してその謝禮一萬圓、株式數百株を收受した事實は明瞭なので岩村檢事正は二十一日午後二時林檢事總長に平田次席は同三時司法省木村刑事局長に夫々取調べの結果、强制收容の已むなきに至つた旨を報告した

大官の强制收容は これが嚆矢

【東京國通】近年續出した大疑獄事件には幾多大官名士が司直のメスに刺されたが、小川元鐵相、小橋元文相始め身分高い大官等に對しては起訴と共に收容する樣な事は檢察當局の努めて執らぬところで、今回の中島元商相を起訴前に强制處分で收容したのは全くこれ等大官の前例を破つたものであるが、これは檢察當局の大事の上にも大事を執らんとの愼重な態度の現れと同時に中島男が三度の召喚にも拘らず如何に頑强に否定したかを物語るものである

墺國內でナチステロ行爲 伊國大憤慨

【ローマ二十一日發國通】先般ムッソリーニ、ヒツトラー兩首相の會見に依り獨伊兩國關係は好轉してゐたがナチスがオーストリア國內で盛んにテロ行爲を行つてゐるのでイタリーは之に頗る憤慨して居り、獨伊關係に再び暗影を投じてゐる

停戰協定廢止說
現在のところ考慮の要なし
外務省當局の見解

【東京國通】昨年五月三十日締結された北支停戰協定は爾來一ヶ年餘を經過し滿支通車を見て以來支那側よりしきりに廢棄通告說が傳へられて居るが在支外交機關より二十一日外務省に到着した各方面よりの情報を綜合するに右に關し支那側よりは何等正式の申出でに接して居ないが假りにこれに應ずるとしても左の如き條件を充足させる事に非ざれば到底これに聽從する事は出來ぬとなし二十一日左の如き見解を發表した

北支停戰協定の廢棄に就いては未だ何等の提議なく且提議あるべしとの交涉にも接して居ない、右協定は元來該地方の情勢の必要から出來たものであり、今後同區域內に排日抗日等の運動が終熄し日滿支三國の關係及び三國民の關係が圓滿に趨移し且又三國民が安心して其生產に從事し得る事の保障なき限り協定廢棄を考慮する必要なしと思惟する

六月中輸出靴下 六十萬ダースに上る

【東京國通】ロンドンで一足二片半（十七錢）の日本製靴下が賣出されるや同市のサラリーマンが殺到したといふニユースが傳へられたが、兎に角六月中に何んと約六十萬ダースの靴下が英國を第一とし南米、北米、カナダ、南洋から北歐の果にまで輸出されてゐる、それが日本品ダンピングだといふ外人側の逆宣傳が宣傳となつて輸出に拍車をかけて居るのだから面白い、大阪が一ヶ月二十五萬、神戶が二十萬東京が十五萬ダースも出て高級品一ダース四圓台から木綿物一ダース一圓五十錢までのものがどしどし繰出され世界市場を壓倒してゐる、勞働時間の關係と技術の進步と爲替關係から安いので各國からぞくぞくとして註文が有り日本の生產の三、四割は輸出され正に靴下日本の觀を呈し、東京の輸出靴下工業組合は鼻息が荒く、その躍進振りに得意となつてゐる

佛教大會第四日

【東京國通】佛教大會第四日は二十一日午前八時より各代表等全部出席して築地本願寺で開催され佛教傳導會社設立案の通過を見、懸案のブッダガヤ奪還問題に關して激論あつた後印度代表のパリシンは主張通りに現在有者より印度政府管理へ移すに決定した滿洲國の出した大同大會を滿洲國で開催の件は米國側より同樣の希望が出て京都の總會へ持越され正午散會した

大凌河支流氾濫で
凌河 平泉間 鐵道流失
自動車十數台河底に埋まる 熱河教育廳小島氏談

大凌河の氾濫で承德に在住する日本人が飲食物に困つてゐるといふことは既報の通りであるが平泉、凌源、北票地方の交通、運搬が全く命がけである狀態について二十日承德から來京した熱河省公署教育廳囑託小島一男氏は文教部で次の如く語る

大凌河支流の氾濫で北票と凌源間の鐵道が流失し凌源と平泉の間は洪水の危險で自動車は二日に一度か三日に一度しか通つてゐません從つて交通の杜絕といつた形に承德の日本人は米とビールが皆無で甚だ困つてをります今朝北營子で朝陽間の鐵道の復舊工事をやつてゐるのでこの材料を運ぶ自動車やその他乘客用自動車がぬかるみに入つてどうにもならずそのうちに洪水が押しかけて泥の中に埋まつた數は十數台ありなかには自動車を引き上げんとしてゐるうちに洪水に襲はれて濁流に卷きこまれ、そのまゝ行衞不明になつたものも四、五名あります、この邊一帶洪水があれば全部が河原となるので人も自動車も皆河床を道にしてゐる有樣であります、今自動車は鐵道の工事關係で朝陽凌源方面には多數きてをりますがこれらは雨の時は山の上に龜が甲羅を干したやうにずらりとならんで雨がやみ水が引くのをまつて河床を道に疾走するのです、河中を渡るときは最大スピードで飛ばしますがたまたま何かの調子で速力がにぶり又は停車した時はもう駄目です、多少にしても水が流れてをるのですし下はぬかるみですから車輛は重みと流れでみるみるうちに河床に入り若しそれを助けやうとでもするなれば思ひがけぬ洪水に襲はれて人命をすてるのです、その附近に雨が降つてゐないからといつて洪水は何時くるか判らないのです實際をみねばほんとにお話にはなりません

補助金問題は
未だに決定しない
理事候補者もないではない 歸京の石崎商議會頭談

補助金問題で關東廳ならびに滿鐵本社に出頭中であつた新京商工會議所會頭石崎廣次郞氏は二十一日歸京して語る

補助金はまだ決定してをりませんこんなにおくれることは從來も度々あることなのでありますが、急を要する後任理事問題もあり、これも先づ俸給の決定が先決問題で滿鐵と關東廳の補助金が決らねば實行豫算をくむことが出來ないためなるべく早く決定してもらふやうにお願ひに行つたわけであります、本月中には決定されると思ひます、增額してくれるかどうかそこのところは何ともいへません、後任の理事については候補者がないではありませんがまだ他の議員と色々相談もあるし發表することは憚ります、地元か輸入か……それも言明の限りでありません

後任理事は 滿鐵から招聘の模樣

別項石崎會頭の大連行きは補助金問題ばかりでなく後任理事問題も多分に含まれてゐた模樣で或ひは滿鐵本社から適當な人物を推薦するのではないかといふ說が今のところ最も有力のやうであるこれは目下の新京會議所は經濟的に甚だしく苦しんでをり今國都の會議所として全滿の各商工團体に率先して活躍すべきときに先立つものは金でありこの意味において今後滿鐵との補助關係を好轉せしむるには滿鐵から相當の地位にある人を迎へるが策の得たものであるといふのである

日滿經濟ブロック打合 田中理財司長 大藏省訪問

【東京國通】今回滿洲國政府と我國シンジケート銀行團間に滿洲國都市計畫に要する同國公債一千萬圓の引受け成立を見たのを機會に同國田中理財司長は滿洲國財政並に幣制金融の現狀並に今後の方策に關して我大藏當局の諒解を得るため二十三日大藏省を訪問津島次官以下各局長に詳細說明し、日滿經濟ブロックの工作に就き種々打合せを爲すことになつた

滿洲皇后伯父君 良席卿氏 來滿

【大連國通】天津特別一區に閑居中の滿洲國皇后陛下の御伯父に當らせらるゝ良席卿氏は天津まで出迎へた元東京公使館の廷璋氏を同伴、二十一日午後二時大連入港の天津丸で來連、中華棧に投宿したが廷氏は船中左の如く語つた

皇后陛下とは三年振りの御對面です、今晚大連に泊り明日新京に出發します、滿洲に永住するかどうか判りませんが今度は永くは居ない筈です

海軍中心の
第二次五相會議近く開催

【東京國通】政府は一九三五年の海軍會議を控へて齋藤內閣時代の五相會議に於て決定した外交、國防、財政の調整を再確認する爲め過般五相會議を開き大角海相、廣田外相より前內閣當時の決定經緯を聽取したが、更に近く第二次五相會議を開き海軍會議對策を中心に國防、外交、財政の整調運用に關しての帝國の方針に關し重大協議を爲す事となつたが、此五相會議は結論を得る迄には更に兩三回開く事になるべく豫想されてゐる

五相會議に對する 陸相の眞意聽取

【東京國通】岡田首相は二十一日午後二時三十分、總理官邸に林陸相を招き前內閣の五相會議の陸軍の方針と今度の會議での林陸相の意向は多少異つて居り寧ろ陸軍は會議の打切りを希望して居るのでその眞意を聽取する所あつた

水害で滯貨の 各線特產

旬余に亘る各所の水害のため運輸不能に陷りやむなく貨車積の儘滯貨してゐた北鐵、拉賓、四兆諸線の特產は大体左の數に及んでゐる
▲北鐵南部線大連向連絡二百八十車▲新京打切百車▲拉賓線六十車▲平齊線三百車▲拉賓線（五常濱江間）から平齊線に迂廻し途中に滯貨のもの二百車程度▲ハルビンから松花江を昇り樺江に陸揚げして樺江に滯留せるものが約三百十車
これ等特產は水害個所復舊と同時に出廻り殺到を極めるものとみられてゐる

重要打合せを終へ 柴山武官歸任
何にも云へないと語尾を濁す

華北不戰區問題、長城各口設關問題等につき關東軍司令部と打合せのため十九日來京した北平公使館付武官柴山中佐は三日間にわたり關東軍との打合せも大體終了したので廿一日午後四時半發列車で南下したが、離京に當り左の如く語つた

事務上の打合事項が大分たまつてゐたので不戰區域問題や長城各口設關問題について打合せ旁々關東軍と種々協議した、具體的な事は言へない、大連へ行くかつて？歸りを急いでゐるから北平へ直行する考へだ
それでは北平到着次第至急解決を要する問題でもあるかとの記者の質問に對して
今やつてゐる仕事や今後やるべき仕事は色々あるが詳しい事は言へない
と語尾を濁した

滿鐵辭令

新京販賣事務所現業助手 雇員 根岸盛三郎
事務員を命ず

伊勢、桃山參拜のため 首相廿五日西下

【東京國通】岡田首相は廿五日東京發、伊勢神宮、桃山御陵其他に參拜、歸途廿八日御殿場に西園寺公を訪問して今日までの經過を報告、尚今後の非常時局に對する所信を披瀝し諒解を求めること〻なつた

米太平洋岸ストライキ 日本船會社損害 二百萬圓に達す

【東京國通】去る五月九日以來開始された米太平洋岸各港埠頭人夫罷業により郵船、商船其他日本側船會社の受けた損害は約二百萬圓に達する見込である

太平洋運賃同盟で 運賃値上げ

【東京國通】太平洋運賃同盟は今回生糸を除き百斤に付き二弗乃至三弗値上げするに決定

齋藤大使藏相訪問 米の諸情勢を報告

【東京國通】歸朝中の齋藤駐米大使は二十一日午前藏相官邸に藤井藏相を訪問し米國に於ける諸般の情勢、對日感情の動き等に就き詳細な報告を行ふと共に藤井藏相からも我國財政、經濟の現狀に就て說明し、會見一時間餘に及んだが同會見後藤井藏相は左の如く語る

別に軍縮問題等の如き重大な問題について話しがあつた譯ではなく一般的なお話を承つたに過ぎないが、最近の米國に於ける日本研究熱は大變なものらしい、商品の世界的飛躍とか、インフレ政策に見えてインフレならざる日本の財政、經濟政策が興味の對象となつてゐるらしい、日本を研究のため來朝する人も多い相だ對日感情も日米親善を熱望する人が多いと見へて同大使に激勵の電報や手紙を寄せるものが非常に多いと云ふやうな話だつた、今後も機會さへあればお會して色々研究したいと思つてゐる

旅順で謹愼 別府に靜養の程志遠氏歸滿

【大連國通】祝町事件以來別府に靜養中だつた程志遠氏は二十二日うらる丸で來連し直ちに旅順に赴いたが健康も恢復した同氏は尙暫時旅順に滯在して謹愼すると

人事往來

▲土肥原少將（奉天特務機關長）二十一日午前九時發奉天へ
▲吉田豐彦氏（關東軍顧問）二十一日午後四時三十分發奉天へ
▲山崎理事（滿鐵）同上大連へ
▲吉澤清次郎氏（總領事）二十一日午後七時三十分着大連から
▲イリヤベウツン氏（ソ聯通商代表）二十二日午前一時哈市から同日午前九時發奉天へ
▲峰松眞三郎氏（廣島縣產業獎勵部長）廣島村下の主なる商工業者三十六名を同伴して二十日午後一時五十五分着列車で來京、國務院民政部、財政部、實業部および市內の商店を歷訪二十一日午後四時三十分新京發奉天に向つた

團體

▲新京中學校生百六十二名二十二日午後一時五十五分着大連から
▲大連第二中學生五十三名二十二日午後五時發吉林へ
▲高岡商業學生九名二十三日午前十一時來京吉林から松屋投宿二十五日午前八時三十分哈市へ二十七日午後三時二十五分歸京同日午後四時三十分發南行の豫定
▲新京高等女學生四十七名二十三日午後四時四十分着大連から
▲神戶神港商業學生三十二名二十三日午後六時五十五分來京富士屋旅館投宿二十四日午前八時三十分發哈市へ二十六日午前七時歸京同日午後四時卅分發南行の豫定
▲大阪商科大學生二十名二十三日午前十一時卅分發南行
▲京都府立第二商業學生三十五名二十二日午前六時來京旭ホテル投宿二十四日午前八時三十分發哈市へ廿六日午後三時廿五分歸京同日午後四時三十分發南行の豫定

●營業品目●
●スタッコ及スサ類
●本溪湖 泉頭 石灰
●色セメント
●各種色土及顏料
●各種油類
●亞鉛引平浪板
●洋釘
●サンKツバメ印ルーフィング
●サンKタールフエルト
●白色エナメルタイル便器
●池田式金網手箕
新京吉野町二丁目十番地
清昌公司
電話四八八○番

交換手募集
經驗ある者至急募集但し住込みのこと御希望の方は至急來談ありたし詳細面談の上
大和通七三
向陽ホテル
電話三八八二番

妻森本操儀豫而病氣の爲め滿鐵醫院に入院加養中の處養生不相叶二十二日午前七時遂に永眠致し候間此段御通知申上候
追而葬儀は明二十三日午後四時自宅出棺祝町西本願寺にて執行可仕候
昭和九年七月二十二日
夫 森本慶次郎
親族 尾本留三郎 森本又吉 森本留三 森本祐太郎
總代 辻田信藏 山下直七 梶原米吉 森野常太郎 中林四郎治 和田義之助 西村清兵衛
友人總代 早川武夫 杉尾正一 手塚照朝 阿曾市太郎
第三區町內會總代 食料品組合長 市場賣店組合總代 滋賀縣人會長

弊社從業員島田鶴次郎儀今般京圖線地方に於て工事從事中の折匪賊襲擊のため遭難死去致したるに付明二十三日午后五時東本願寺に於て告別式執行可仕候
昭和九年七月廿二日
東亞土木企業株式會社 新京出張所
藤田茂組

亡父松原達治儀葬儀の際は酷暑の折にも不拘御會葬成被下就ては混雜中御尊名伺ひ洩れ有之哉も計り難取不敢以紙上厚く御禮申上候
昭和九年七月二十二日
嗣子 松原勝昭
妻 松原マル
親族一同

協和會公金費消事件
犯罪事實愈よ明確
憲兵隊取調べ續行
紊亂極まる會計内容も判明

王道樂土建設の重大使命を帶ひて民族協和運動の先驅者として民衆の輿望を擔ふ滿洲國協和會の首腦部、山田經理科長、吉田同科員、紀井委員などに絡る今回の公金費消事件は拓けゆく滿洲國三千萬民家の指導團体であるだけに一大痛恨事として各方面から寒心されてゐる事件は取調べ進展につれて愈よ犯罪事實が確定となつた模樣で係員を驚嘆させてゐる、二十二日は日曜にもかゝはらず憲兵隊本部では春日特高課長以下關係各係員早朝より登廳して極秘裡に取調べを行つてゐるが事態は相當紊亂してゐるらしい

春日特高課長談

右につき春日特高課長は語る民衆の指導者である知識階級の人間が斯る不正行爲をすることは誠に寒心に堪へない、協和會の中でも獻身的に努力してゐる者があるのに斯る事件になつて協和會全体が社會より白眼視されるやうなことになつては氣の毒である

協和會内部に 廓清運動起る
今朝來寄り〳〵協議

協和會内部では今回の山田經理科長以下に絡る公金費消事件を契機としてかねてより山田科長その他の不純分子に對して不滿を抱いてゐた同會員中堅分子は廓清運動に乘り出す事ゝなり二十一日も同會々議室に集合今後の處置善後策について協議するところがあつた

午前七時奉天より着京、ヤマトホテルに入る、同九時四十分ホテル發、十時國務院に於て鄭總理と會見の後宮内府、中銀、交通部、外交部、財政部等各官廳を訪問し、國都建設局屋上にて阮局長の説明を聞き首都建設狀況を視察、ゴルフ場、西公園を見物し午後一時大使館側の招宴に出席、午後四時三十分よりヤマトホテルに於て川崎宣化司長より滿洲事情に關する講演、同六時三十分よりヤマトホテルに於て、謝外交部大臣招宴に出席し八時迄滿洲事情に關する活動寫眞を觀覽、種々懇談後、午後十時發列車で南下、大連に向ふ豫定である

新宅完成て 大谷光瑞氏引越し

【大連國通】大谷光瑞氏は周水子に新築中の新宅が近く完成するので先般京都に赴き引越し荷物の取纏め中であつたが二十二日うらる丸で歸連した、佛籍を去つたとは言へさすがは大法城西本願寺の御隱居さんだけあつてその引越荷物が何と貨車十臺に餘ると云ふことだ

亡靈に惱まされて 犯行を自白
日人殺し犯人逮捕

【北安鎭國通】これは又昭和の御代に珍らしい亡靈に惱まされる男があるとの噂があつた

＝折柄＝去る六月二十一日、當地北門外附近で擧行不審の一滿人を折柄巡察中の當地憲兵隊齋藤軍曹が發見連行留置した處、陽が暮れると共に異樣なうめき聲を立てつゝ悶え始めたのでさては噂の主は此奴かと種々取調べを續ける裡毎夜續く亡靈の惱みに耐へ切れず遂に過去の犯行一切を自白したが、彼は吉林省楡樹縣生れ梁家燒鍋(北安鎭西方約六十滿里)居住無職吳春陽(三二)で去る三月十四日當地東二道街齒科醫多田格氏宅に侵入し主人の多田氏及び同家に泊つて居た當地日本抱酌婦鸞子の二名を殺害し金品を强奪の上同家に放火逃走したもので共犯者葛海峰は既に事件數日後海倫にて逮捕されたが、葛が吳の名を知らなかつた爲、本日迄逮捕されるに至らなかつたもので吳は其の後前記梁家燒鍋に逃走してゐたが、同所でも隣家の娘李某を見染め何日かは苦しい胸の裡を傳へんと思ふ中同女が愈々他家へ嫁入りする事となつたのでその婚禮の前夜の九時頃李が厠へ行く途中を捕へ强姦し娘は憤りと羞かしさの餘り遂に自殺し其の後噂の如く

＝亡靈＝となり毎夜吳を苛むだものであると、尙不思議なのは吳が逮捕された日は丁度多田氏の百ヶ日の當日であつた、犯人は近く一件書類と共に滿洲國側に引渡さるゝ筈

米學生滯京中の歡迎プロ

來る二十六日來京する日米學生會議出所の米人男女學生七十名、日本人學生二十名の接伴方法に就て昨日日滿各機關に於て打合せを行つた結果左の如く決定した

頰被り姿の乘客は 天然痘の患者
新京驛出札係が發見して大騷ぎ

二十二日午前七時着北鐵列車で新京驛に下車し奉天ゆきの切符を買ふべく、頰被り姿で切符を求めた一滿人がどうやら天然痘患者らしいので、これを看取した出札係が驛派出所に急報、直ちに同仁病院の診察を受けたところまさしく天然痘患者と判明した、この男は奉天省富縣の者で劉殿活(二七)といひ本月十二日頃ハルビンで發病したが醫者にも見せず、病体のまゝ奉天へ歸る途中と判明した、なほ新京驛派出所では直ちに首都警察廳に身柄引取方を交渉中だが、日曜のため再三電話しても要領を得ず、結局本署から首都警察廳へ正式に引取方を要求することになつたが、日曜の故を以て早速引渡しも行はれないなどは首都警察廳側の醜態で、その間患者は派出所で立往生してゐる始末である、なほ患者を載せた列車その他は大消毒を行つた

家族五名を射殺して 集團部落を死守
悲壯な北蛤蟆塘自衛團十七名

【間島發國通】間島の治安から始つて、朝鮮人問題、共匪問題を解決する鍵として期待されてゐる集團部落の建設は昨年以來着々として進んでゐるが、この影には無名の同胞の血が幾度となく流されてゐることを想起しなくてはならない、本稿も涙なくしては聞かれぬ挿話の一つである

×

去る七月七日午前零時二十分頃、延吉縣春陽鄕北蛤蟆塘集團部落に少年游擊隊、婦女隊を混へた三百餘名の武裝共匪は三隊に分れて襲擊し來つた北蛤蟆塘集團部落は總督府側の第一次集團部落で鮮農四百十數戶、滿人百餘戶を有してゐる間島唯一の大集團部落であるが、建設以來未だ一度も襲擊された事もなく順調に發展して來た所で、警備手薄、當時の警備力は集團部落内の壯丁から組織してゐる自衛團十七名を有してゐるのみであつた

時恰も連日の雨天、咫尺を辨ぜざる暗闇の中からひしひしと攻めよせる匪團の喚聲のみが物凄く聞えて來る

自衛團十七名は直ちに隅々にある砲塔によつて射擊を開始した降りしきる豪雨の中にしばし交戰は續けられたが、闇は愈々濃く敵は三百餘名、味方は十七名、しかも彈丸は殘り少であつた、敵は遂に北側の土塀を乘越して部落内に入り、北大門を開いてどつと喚聲を擧げて侵入し來つた、掠奪、人質は開始され部落内は阿鼻叫喚、混亂の極である

×

然し砲塔にある十七名の自衛團は依然として抵抗を續けてゐる、しかも彈丸は益々殘り少である

「彈丸がなくなつた」

「俺もない」

「俺もだ」

悲痛な聲が低く砲塔の闇に傳はる

「よし俺が向ふの砲塔から取つて來る」

と叫んだのは陳得鳳君(二六)だ

「駄目だよ、出れば殺されるぞ」

と云ふ聲に

「何ァに、當るものか」

と言つてさつと豪雨の中を砲塔外に飛び出した、一彈續いて二彈、三彈彼は右脚より下腹部に三發の貫通銃創を受けてばつたりと倒れた(彼は十一日岡們病院で遂に殉職した)匪團の欲しがつてゐるのは自衛團の持つてゐる銃器である、そして今でこそこうして匪團と自衛團に分れて戰つてゐるがこの中には嘗ては同じ學校に机を並べた友達も居る

夫を縛つて置いてその前で妻を姦淫し、場合によつては妻を脅迫して夫を殺害させる位は朝飯前の間島匪賊である、彼等は遂に一計を案出した、それは砲塔に立て籠る自衛團の家族を部落の中から探し出し、それと引換への條件で自衛團を降伏させやうと云ふのだ老人を前に立て幼兒を背に負つて匪賊はせゝら笑ひ乍ら

「おい、射てばお前の父母も子供も一緒に死ぬぞ馬鹿な眞似は止めて早く銃を捨て」

×

と叫び乍ら、ぢりぢりと砲塔に近づいて行つた、雨は愈々强く物凄いまでの情景である(射つか父母、最愛の妻子は共に死ぬ、射たねば集團部落は潰滅する、肉親か、建設か)部落民も匪團の砲塔も寂しく聲なく雨の音のみ物凄い、朝鮮人の敬親の觀念の强い事は到底日本人の比ではない、突如!

「だあん、だあん、だあん」

遂に試練の彈丸は放たれた、悲壯!匪賊と共に自衛團の家族五名朱に染つて倒された血を以て築く集團部落の一挿話を包んで雨の音のみ何時までも高かつた

不通以來十一日 南部線漸やく開通
然し通過毎にまだ線路沈下

さる十一日水害のため不通になつた北鐵南部線はその後復舊工事一向に捗々しくなく非難の聲すら擧げられるに至つたが十一日目の二十一日漸く復舊なり二十日午前八時三十分新京驛發第四列車が二十一日同水害地點の一番乘りで直通運轉した、該列車は廿一日午後七時二十分無事ハルビンに到着したが右通過狀況を同列車監督者が報告するところによると

一、試運轉列車は無蓋貨車五輛(バラス積載)編成で推進運轉し拉林驛側からまづ蔡家溝に向け運行同日午後二時十分無事復舊個所を通過したがその結果同地點は二十センチメートル乃至三十センチメートル沈下した處があつた、沈下せる點は直ちに補工して前記第四列車が同日午後五時蔡家溝驛發車、これ亦無事通過、時に午後七時二十五分

一、なほ二十日ハルビン發第三列車は拉林驛で前記第四列車と入代り蔡家溝に向け發車して

一、前記の如く試運轉列車通過の際三十センチメートル沈下し又第四列車通過の際も恐らく二十センチメートル位は沈下してゐるものと思はれ、所から見て復舊個所は未だ充分固つておらず從つて貨物列車通過までにはなほ一兩日を要するものと思惟す

一、なほ哈市驛長談によれば二十二日から旅客列車は水害以前の時刻表に基き各列車とも運轉するといつてゐるが右は判明しない

衛生隊の電話が變りました

京新衛生隊が消防隊から分離したために、公衆用の電話も新しく急設されたが、一般では今なほ消防隊と同一視して電話なども從來のまゝで頻々かけて來るので消防隊でも大迷惑してゐる、なほ衛生隊の新設電話番號は五二二一番

街の日記

尺八の稽古 滿鐵邦樂會生る

今度在京滿鐵社員有志によつて滿鐵邦樂會を組織し、音樂の研究と併せて圓滿なる人格の向上涵養に努めることになつたが、當地在住都山流尺八師範秋元藍山師を聘し尺八の稽古を始める、開講は八月三日から、毎週金日午後六時白菊町會館、月水八島湯樓上、會費は月二圓、申込は地方事務所社會係加藤氏、庶務係小野寺氏、永樂町一丁目秋元氏へ、なほ尺八は稽古用十圓から五十圓位で、月賦頒布の便があるよし

弓道大會 下德氏送別

長年の間長春滿鐵弓道部師範の任にあつて斯界の指導をやつて來た下德直助氏は既報の通り二十四日午後十時發列車で鄕里に歸省するに決定したので同部では二十二日午前十時半から會員約三十名が地方事務所裏道場に集り下德氏送別弓道大會を開催した

西公園のベビーゴルフサービス

西公園内中央ベビーゴルフリンクでは當分の間同好者サービスの一端として七十點以上の優秀者に對しては賞品を

カフエー世界けふ開店 盛んな招待日

新京一を誇るカフエー世界はいよいよ二十二日から一般市民のため堂々とお目見えすることになつたが、これより先き二日間を招待日としてその第一日(二十日)約九十名を招待午後七時開宴に先立ち店主榊忠宗氏の挨拶があり、マネージャー林和夫氏、司廚士長尾崎武夫氏らを紹介し、宴酣なるころ來會者一同カフエー世界のために萬歳を唱和して同九時盛況裡に散會した

なほ同カフエーは吉野町四丁目賓宴樓隣り、その規模設備とも新京一の名に恥ぢず女給實に四十餘名の麗人揃ひといふ豪華振りである

拾ひもの

▲三笠町三丁目食道樂竹葉内井窪幸子さんは二十日午後一時三十分ごろ中央通二十番地で富士絹布呂敷包在中黑の木箱一個を拾つた

▲中央通四十番地大阪屋號書店内大谷愛二郎氏は自宅前に十八日ごろから中古自轉車一台が放置してあるを發見二十日屆出た

盜難屆

▲千鳥町二丁目一番地鹿子木秀義氏方へ二十日午前八時から同午後六時の間家人不在中何者か玄關の施錠を破り侵入獨乙製角型掛時計一個三十圓を竊取された

▲住吉町二丁目六番地中島虎藏氏所有大工道具一式時價百六十圓を十九日午後六時ごろから二十日午前四時の間三不管の職場で竊取された

▲中央通二十一防空協會内齋藤房吉氏所有自轉車一台時價六十圓を二十日午後十時ごろ自宅内で竊取された

▲入船町二丁目三十一番地大和旅館新築工事場で苦力頭常雲洲は現金七十一圓を二十日午前六時ごろ竊取さる

廣告訂正

二十二日附夕刊二面新京銀行第三十四期決算報告中常務取締役梅津清兵衛とあるは梅津滿兵衛の誤植につき訂正す

馬車馬に蹴らる

二十一日午後五時二十分市内室町二十一番地簡易宿泊所木村卷太郎氏長女さよ子(七)さんが弟の正一(一)君と東二條通二十一番地先で遊戲中正一君は客馬車の馬に頭部を蹴られ重傷を負ひ新京醫院に收容手當を加へたが生命は取り止める模樣である

朝鮮人幼兒 馬車に轢殺さる

二十一日午後四時十分市内梅ヶ枝町四ノ一〇朝鮮人雜貨商朴庸元の次男沫(三)君が同家先で遊戲中土砂運搬用の馬車に轢かれ頭蓋骨を粉碎されて即死した

交通事故頻々
自動車とリヤカー衝突

二十一日午後六時半ごろ司法部文書課運轉手河野孝君が吉田屋旅館へ客を送つて歸途中央通裕泰號先で同店ボーイのビール空箱を積んだリヤカーつき自轉車に衝突ボーイは跳飛ばされ兩足に二ヶ所の擦過傷を負つた

中山天理教管長 今夜入京

台灣青島を經て來滿した中山天理教管長の一行九名は二十二日午後七時半着列車で入京ヤマトホテルに投宿

内鮮滿融和講演 徐成烈氏

朝鮮出身、夙く明大に學び歸鮮いらい改潮社を組織し、内鮮融和問題をさげて東奔西走しつゝある改潮社長徐成烈氏は來る二十八日より二十九日にかけて新京で、内鮮滿融和問題についての講演を行ふと

西公園入園者 一月平均五千人

十日から開始された西公園の入園料は二十一日まで十二日間で七百六十八圓八十錢入員にして三萬八千四百四十名、一日平均三千二百三名は公園に金出して遊んでゐるこの外に學生、軍人、子供は無料であるから兩方合すれば一日に五千名は入園者がある勘定となるなほ最高は十五日(日曜)の七千九百八十名最低が十日(初日)百二十名

山田嘉吉氏逝去

【東京國通】女流評論家山田わか女史の夫君山田嘉吉氏は持病の喘息で醫師の手當を受けてゐたが、二十一日早朝遂に逝去した、享年七十三、同氏は明治十八年渡米、苦學力行して各國語を學び、塾を開いて在留邦人の世話をし、我等の父と仰がれてゐた、滯在中「わか女史」と結婚、同三十九年歸朝して以來「わか女史」のよき指導者として尋常小學四年より出ない「わか女史」を今日の輝かしい女流評論家に仕上げたのも氏の隱れたる力に依るところが多い

丸平洋行不幸

吉野町一丁目角丸平洋行妻女森本操さんは去月五日來肋膜炎にて滿鐵病院に入院加療中であつたが家族看護の甲斐無く二十二日午前七時遂に長逝した、享年二十九才遺兒一男一女あり惜しまれてゐる

滿倶勝つ 對滿洲國野球

【大連國通】滿洲國對滿倶野球戰は廿一日午後四時滿倶球場にて滿洲國軍先攻安藤兄(球)安藤弟(壘)兩氏審判の下に開始、四Ａ對一で滿倶勝つ、閉戰五時四十分

△バツテリー

滿洲國軍 柳原―水原
滿倶 中澤―梅本

△スコアー

滿國	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
滿倶	1	0	0	0	3	0	0	0	A	4A

	安打	四球	三振	失策
滿國	七	三	四	五
滿倶	二	七	〇	二

地事チーム遠征

新京地方事務所軟式野球チームは吉林体育聯盟の招聘で來る二十九日吉林へ遠征することになつた

撫順へ出發 庭球選手一行

州外庭球選手權大會に臨むべく新京側參加チーム六組の選手達は必勝の意氣に燃え、盛んな見送りを受けて二十一日午後四時三十分撫順へ向け出發した、二十三日午前七時着歸京のはず

仙人掌

▲開花の千代香と言へば女將自慢の看板妓だそうです、一頃險の雪岱好みの美形本場の祇園で鳴らしただけあつて何かにつけて垢拔けして居る樣に見受けられるとの事です▲此の妓何の念願があつてか男禁制でがん張つて居て引く手あまたの粹人どもの心を搔き亂して居るとの事ですが、はて誰の爲めの心中だてやら?、然じ神樣も言つてやはりまんね▲男持つなら老頭兒を―若い男を好きな人にして前途ある身を誤らせる樣な事はしてはならぬぞよーと、若い奴はよく言へば純で惡く言つたら甘ちやんやからね、たとへ正眞好いたらしい樣な氣がしても▲惚れたはれたは金のある頭のはげた御老人に限り眞似してやるものと知つておきなはれや、そして又あんたはんが少しでも氣を動かす樣な若い男やつたら、必づ何所かにレコが一人位はあるやしするからきつう恨まれる樣な事がありまつせ▲一、千、百千、此の數の謎が解ける樣やつたらね尤も之が解ける人は新京で一人か二人で週然知つた本記事の筆者位ひのもんや▲決して振られた腹いせで言ふのぢやないが、出來る事なら何所迄もなひくと見せてなひかない男嫌ひで通しやんせそれが身の爲、主の爲、はつた樣なら……(これは彼女が來たばかりの時、送られて來たとの簞衣に秘めてあつたのを御披露に及ぶ)

愈々本日開店

その設備!
そのサービス!

◆豪華な大ホール◆
◆妖麗美人の亂舞◆
◆絶對本格的な味覺◆

あらゆる点に於て新京一を標榜してカフエー界に君臨せんとするものであります

吉野町四丁目の一角に聳え立つ新京大社交場

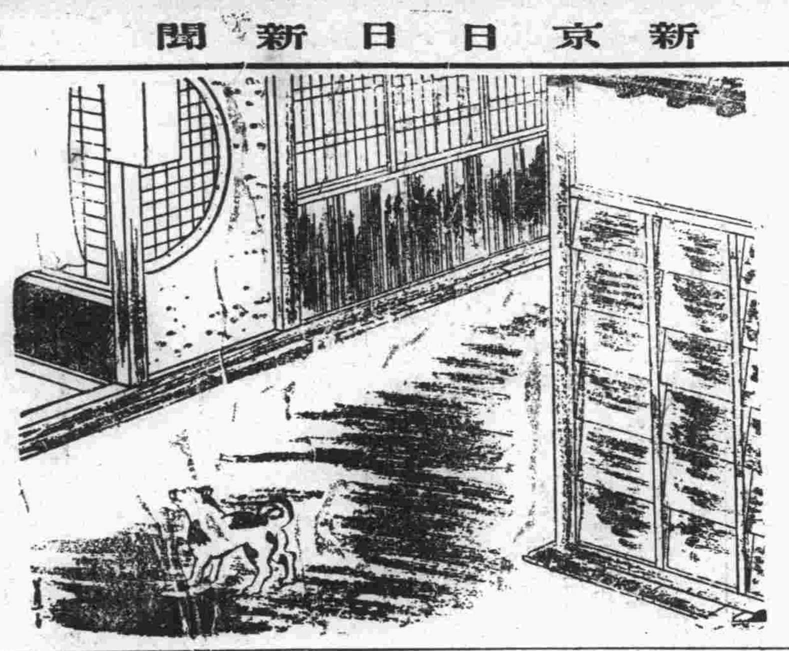
店主 榊忠宗
日本料理主任 榊忠良
マネージャー 林松夫
バーテンダー 萩野登次郎
司廚士長 尾崎武夫
原口兼清
相川武夫
國岡新太郎
清水秋生
堀田淺夫

禮子 洋子 ミサヲ
悅子 良子 絹代
弘子 京子 カヲル
蘭子 幸子 春美
世津子 加代子 鐵弓
萬里子 順子 清美
えり子 富子 里美
榮子 俊子 直美
みよ子 咲子 雪江
光子 靜子 霙雪
奈々子 町子 岸枝
君子 小夜子
笑子 隆代

どうぞよろしく…

カフエー世界

新京吉野町四丁目●電話三七七六番



新版 江戸八景

（上映 第一映畫）行友李風氏外四氏作 [illegible]銀平他二氏畫

一〇

根岸の寮

一六 日岐武志

やけ酒（四）

ふくれてゐたお粂は、急に甘へるやうに、しかも金助にしなだれかゝるばかり身をすりよせて來る

「ねえ、金助さん、お前さんに少し相談ごとがあるのさ」

「おや、なにかいの」

金助は、わざと改まつてみせたが、このおぼこ娘、何を言ひ出すんだらう、にやりとした。

「なにつてさ。でもお前えさん相談にのつておくれかい」

「はーて、相談といつても、おいらにやなんのこつたか、てんで見當がつかんからの」

「ちやゝ、いゝわいの。お前さんなんか相談相手にしない」

ぷいと又ふくれてみせるお粂の袖を金助はぐいと引き戻した。

「ま、まちねえよ。お粂坊、たださうぷんぷんつむじをまげられても、おいらにやさつぱりわかんないからの。相談てえのはいつたいどんな筋合のものか、一つ話してみなよ。事と筋合によつちや、金助、知惠をしぼつてやらねえこともねえ」袖をぐいと引かれるまゝに、お粂は又金助の方に身をすり寄せて來た。

——はゝあ、讀めた。

先刻からのお粂の樣子で、相談事の筋書がどうやらこれとわかりかけると、

——醉けつぱちになつてるんだな

と、金助は、はやくも察したが

「二度、どんなことだか、場ひきつてぶちまけてみねえよ。外に人通りもねえしはづかしいことなんかねえぜ」

「あのう、ね」

と、お粂はためらつて

「でも、こんな所では話が出來ないから、どこかそこらの小料理屋へでも上つてから、話すことにしようぢやないの。」

「料理屋——」

「いけないのかえ。かまはないぢやないか。あたしがおごるからね。今夜は、よつぱらつてやるのさ。」

「お粂坊、醉けつぱちぢやないか」

「あたりまへよ。くやしいつたら、ありしない。くたくたによつぱらてやるのさ」

「よし、來た」

なだめすかしかして、送りかへす筈の金助は、性惡もの、送り届けるどころか、根岸小町がくたくたになる迄、醉つぱらはうといふのだ、その相手になるのだから耐くはない、おまけにお御の家で飲んだ酒が、もう醒めかけてゐる矢先でもある。

「小料理竹や」と薄墨で書いたその行燈の灯が、すぐ二人の眼にとまつた。こぢんまりと、じつかなお誂へ向きな小料り屋。

性惡の金助はともかくとして、たとへ料り屋の娘だとはいへ根岸小町ともあらうお粂、ためらふこともなく男の後から淺黄のれんをくぐつてはいつた。

「いらつしやいませ」

やつぱりどこかの商家のお隠居か、小粋づくりのお女將、愛嬌笑ひをつくつて迎へ、小女を指圖して二階の部屋へ案内した。

「お粂坊、ほんとうにお前飲むつもりかい」

酒と小料りが運ばれると、金助は杯洗から猪口をつまみ上ながらにやにやとお粂の顔色をうかゞつた。

「飲むために來たのぢやないのよつぱらつたら介抱しておくれ」

お粂は猪口を受けながら、醉るやうに醉ぼい眼で金助を見返したが、ゑゝ、なれと、醉けぱちになつてゐた。

月曜 乙未 大安 建 張宿
七月三十日 舊六月二十日

●一白の人 身の不幸を喞たず分に安んじ勵まるゝが吉 乙と辛と亥が吉
●二黒の人 何等の不安なく順調に進展榮達を呈する日 庚と辛と寅が吉
●三碧の人 德育を旨とし上下内外に親しみ深きが吉し 丁と辛と亥が吉
●四綠の人 物事に疑惑の念ありて決心附かず成り難し 甲と丁と亥が吉
●五黄の人 内外の調和を保てば漸次に良好に向ふべし 丁と坤と庚が吉
●六白の人 氣を締め手を控へて萬事を處すれば向上す 坤と申と壬が吉
●七赤の人 人言忽がせにせず我意を起さざれば幸あり 壬と癸と寅が吉
●八白の人 勞するも效なきを觀念し希望を起さぬが吉 申と庚と寅が吉
●九紫の人 良運の如く見ゆるも不時の失敗を生ずる日 巽と丙と申が吉

大阪商船出帆
門司、神戸（大阪行）
×印二三等船客設備船
▲印廣島寄港
（午前十時大連出帆）
うらる丸 七月廿四日
香港丸 七月廿五日
×たこま丸 七月廿六日
うすりい丸 七月廿八日
ばいかる丸 七月廿九日
▲×志あとる丸 七月三十日
扶桑丸 八月一日
はるびん丸 八月二日
亞米利加丸 八月三日
切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所
船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間三ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ケ月）
專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店
大阪商船株式會社
大連支店電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二二一六番

一、日滿民刑事々件
一、土地家租證明手續
陸軍大臣指定辯護士
一、財産ノ管理清算事務
一、滿洲國商標登錄申請代理
前判事 辯護士 辨理士 正七位 勳六等 引地寅治郎
永樂町三丁目二十一番地 領事館前妙法寺隣

ぢに
アースタム
全國藥店・百貨店 藥品部にあり

閑靜で……
おちついた御座敷！
家族的に御利用の程を……
元なべよし跡
鍋料理 鍋一
十人樣以上の御宴會は特に安く御相談に應じます!!
三笠町一ノ十四 ヤマトホテル裏 電話二七八三番

新高のキヤラメル
新京日本橋通七二 福田支店
新高製菓大連工場

新京出張所新設
新京老松町二丁目天野商店内
電話二九二五・二九六七
精々御利用御援助の程奉懇願候
日本ペイント
大連・奉天・新京

『新荷』豐富着荷!!
洋畫材料
額枠各種
新京吉野町一丁目
（モ）森野商店
電二一五一番

お產なさるなら
新京朝日通一九（朝日通交番所前）
博愛醫院產院
產婆主任 宇野のぶよ
產婆派遣
入院隨時

新京の草分
花本獨特の江戸子料理
□出前迅速□
●鯛茶
●純東京にぎりすし
●ちらし
●北陸名産なめこ料理
●釜めし
●ごもく
●天ぷら
其他お好みに應ず
食道樂 花本
永樂町二丁目 電四七八五

芳香滿點
少量で口内一杯に泡立ち
微細の口中穢物もよく排掃す
仁丹歯ハミガキ

水道工事
煖房工事
衛生工事
設計旋行修理
カナヘ商會
營業所 城內西三道街 三義胡洞一六號
電話三七五〇番
●御一報次第店員參上可仕候●

おちついた御座敷
家族的で高尚な
食道樂
四十人樣迄での御宴會を御利用に應ます
割烹
幸樂
入船町二ノ一七
電二二六六一番

山崎齒科
中央通西公園前
診療時間
午前九時—午後六時
日曜午前中診療日休診

滋養豐富
森永ビスケツト
登錄商標

印度政府白檀専賣局特製
淋疾高貴藥
マイソール・サンタル

心的——
治淋內服藥
他藥で治らぬお方に切にお奬め申します
世に淋疾の藥品ほど多いものはないが、もし良質の白檀から得らるるなら、これ以上の治淋劑はない。
本劑は印度政府白檀専賣局特製の治淋劑にして、これは世界的本場印度マイソール政府が十八種の原木中、最良木を以て特製したる精純無比の最高級白檀油で、從來の輸入ものとさその質を異にし、副作用なく效能の顯著なること、醫家諸賢の等しく確認する處である。
定價 試用瓶 金參圓 五十球入 金五圓 百十球入 金拾圓
大阪市東區北新町一丁目三五
輸入發賣元 サンタル商行
同 滿洲出張所 奉天千代田通一六 電話三一五五番 振替大連四六九〇番
代理店 大連浪速町 日本賣藥株式會社 奉天浪速通 井上誠昌堂 奉天春日町 佐藤廣濟堂
特約店 新京日本橋通り 井上誠昌堂藥房支店 新京東一條通り 太陽堂藥房

新京にも
東京氣分の嬉野へ
新京三笠町三丁目
料亭 嬉野
電話三八三〇番
東京へ御いでの節は是非
廣い庭園、靜かな離れ、家にや小座敷、大廣間
感じのいゝこの家で皆樣の御來遊を御待申して居ります
駒込神明町第一の待合
嬉野本店
電話（小）六二二二番

斷然
ペーチカ界の王
特長
合理的で火力強大!!
燃料節約!!
築造實低廉!!
新京永樂町四丁目五番地
高山式ペーチカ
電話二六四二番（呼出）